



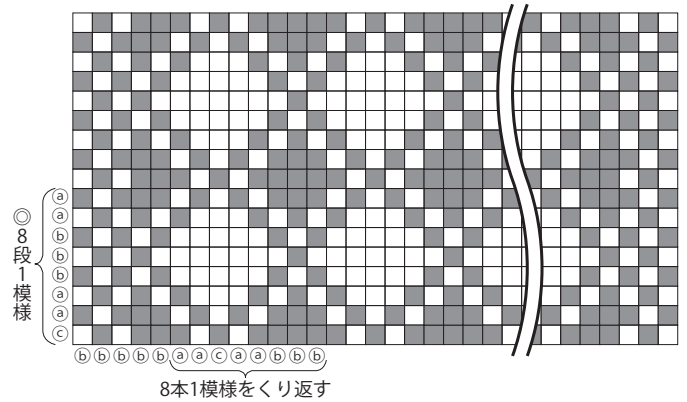
AMX-91 ワッフル織のクッションカバー

デザイナー / 岡本啓子 製作 / 木戸典子

〈ワッフル模様図〉

2020A/W

■ = ヨコ糸が上、タテ糸が下 ㊦ □ = タテ糸が上、ヨコ糸が下 ㊦



●使用織り機…オリヴィエ〈織美絵〉

●使用糸

使用糸 (リッチモア手あみ糸)	色番	色	オリヴィエ〈織美絵〉 使用量
フェルマータ	No.1	㉖ (ホワイト)	1.5玉
	No.9	㉗ (ブラック)	1.3玉
	No.4	㉘ (ブラウン)	0.4玉

※この糸は伸縮効果のある糸です。
スチームアイロンで縦横約10%程縮みます。
この糸については外側から取り出してください。

●使用ヘドル…30羽 (30本/10cm)

●他に用意するもの…ヌードクッション (30cm×30cm) 1個

●ヨコ糸密度…30段/10cm (織り上がり後、スチーム前)

●織り上がり寸法…長さ78cm、幅32cm

●作り方

1 タテ糸を配色どおり張る。

タテ糸の本数…㉖56本、㉗49本、㉘14本 (合計119本)

ヘドル通し幅…約40cm

タテ糸の長さ…126cm

表記の寸法は織り上がり寸法です。

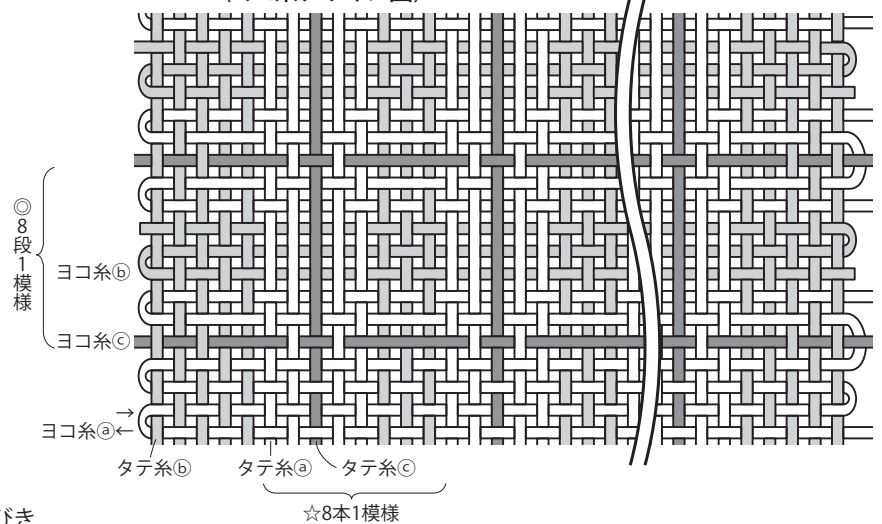
織っている最中は、糸が引っ張られた状態です。
織り機からはずすと約10%以上織り地が縮みます。

織るときは縮み分を考慮し、

打ち込みの力加減と織る長さを調整しましょう。

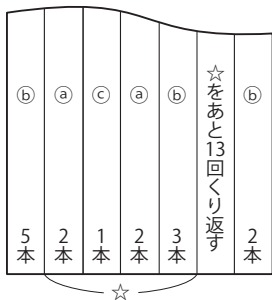
※縮み分は糸の種類や模様によって変わります。

〈ヨコ糸デザイン図〉



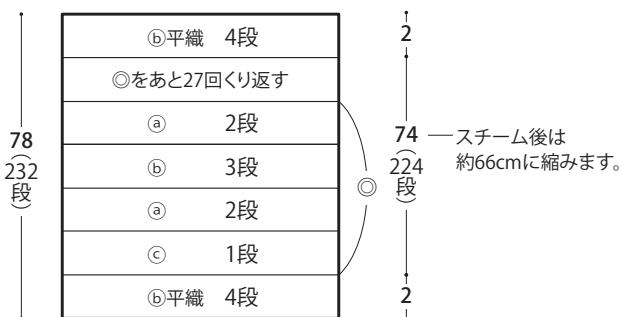
〈タテ糸配色〉

※この糸は伸縮しやすいのでタテ糸を張る際は糸が伸びきらないようピンと引っ張りすぎずに作業してください。



2 ヨコ糸を配色どおり浮き織りで、ワッフル模様になるように織る。

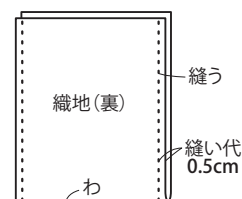
〈ヨコ糸配色〉



3 織端にジグザグミシンをかけ、フサを短く切る。

4 仕立てる。

① 中表に折り、脇を縫う。



② 表に返し、ヌードクッションを入れ、クッション入れ口を2cm内側に折り返してまつ。

